

図9 M4以上の繰り返し地震により推定した2011年東北地方太平洋沖地震後の余効滑りの時空間変化。左図の矩形領域1-12内の繰り返し地震グループの平均の積算滑りを右図で示した。左図の丸は繰り返し地震グループの位置でそのうち赤色は2011年東北地方太平洋沖地震以降に活動したグループ、コンターはIinuma et al. (2011)による地震時滑りの分布、赤星は本震の震央。(名古屋大学 [課題番号: 1702])。

(課題番号: 1405 図3)

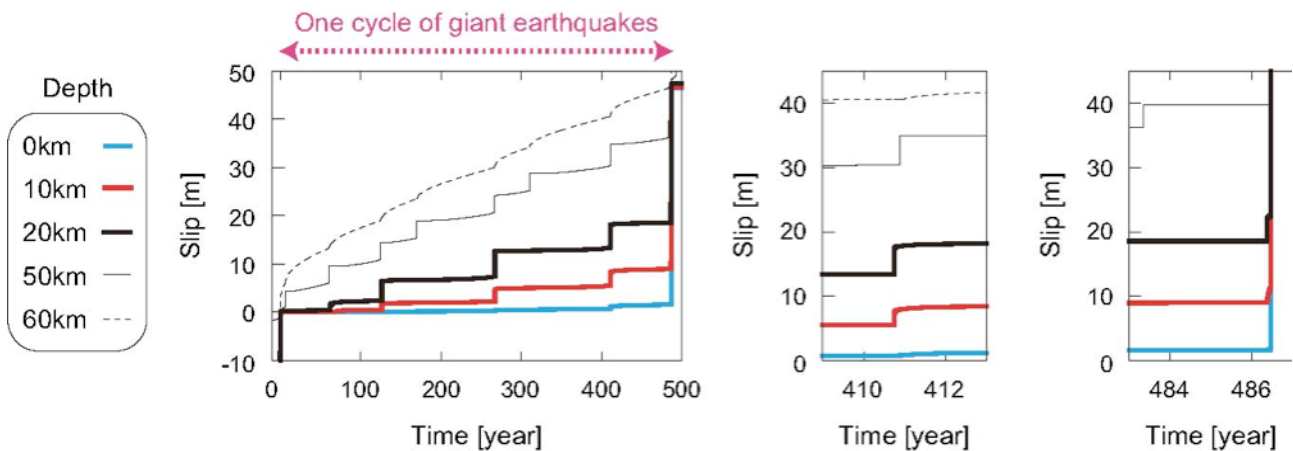


図10 超巨大地震サイクル中での、各深さ(0, 10, 20, 50, 60km)における積算滑り量(左図), 410年(中図), 超巨大地震発生直前(右図)の拡大図。深さ0, 10kmはTP領域, 20kmがAsperity1, 50kmはAsperity2,